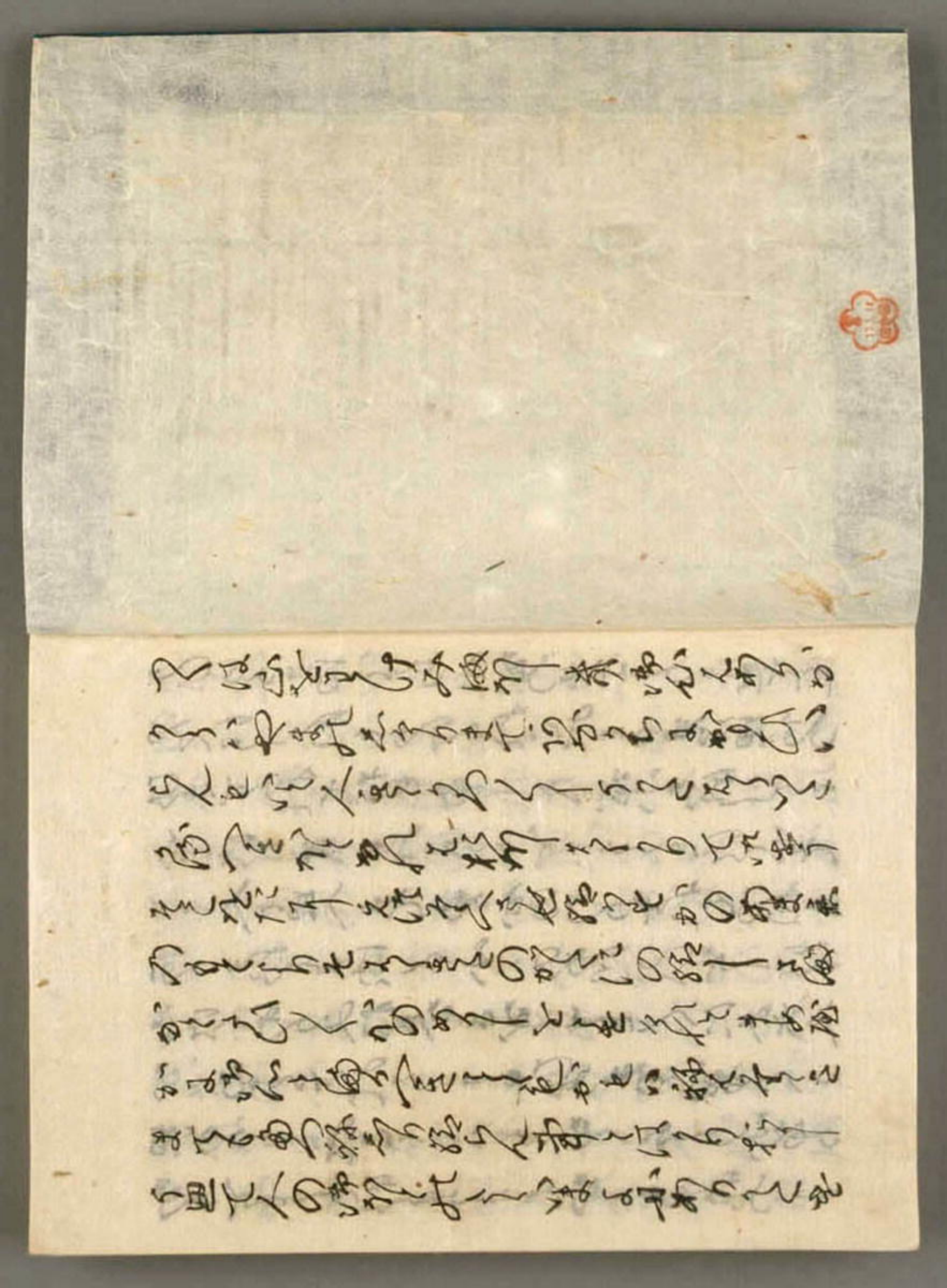
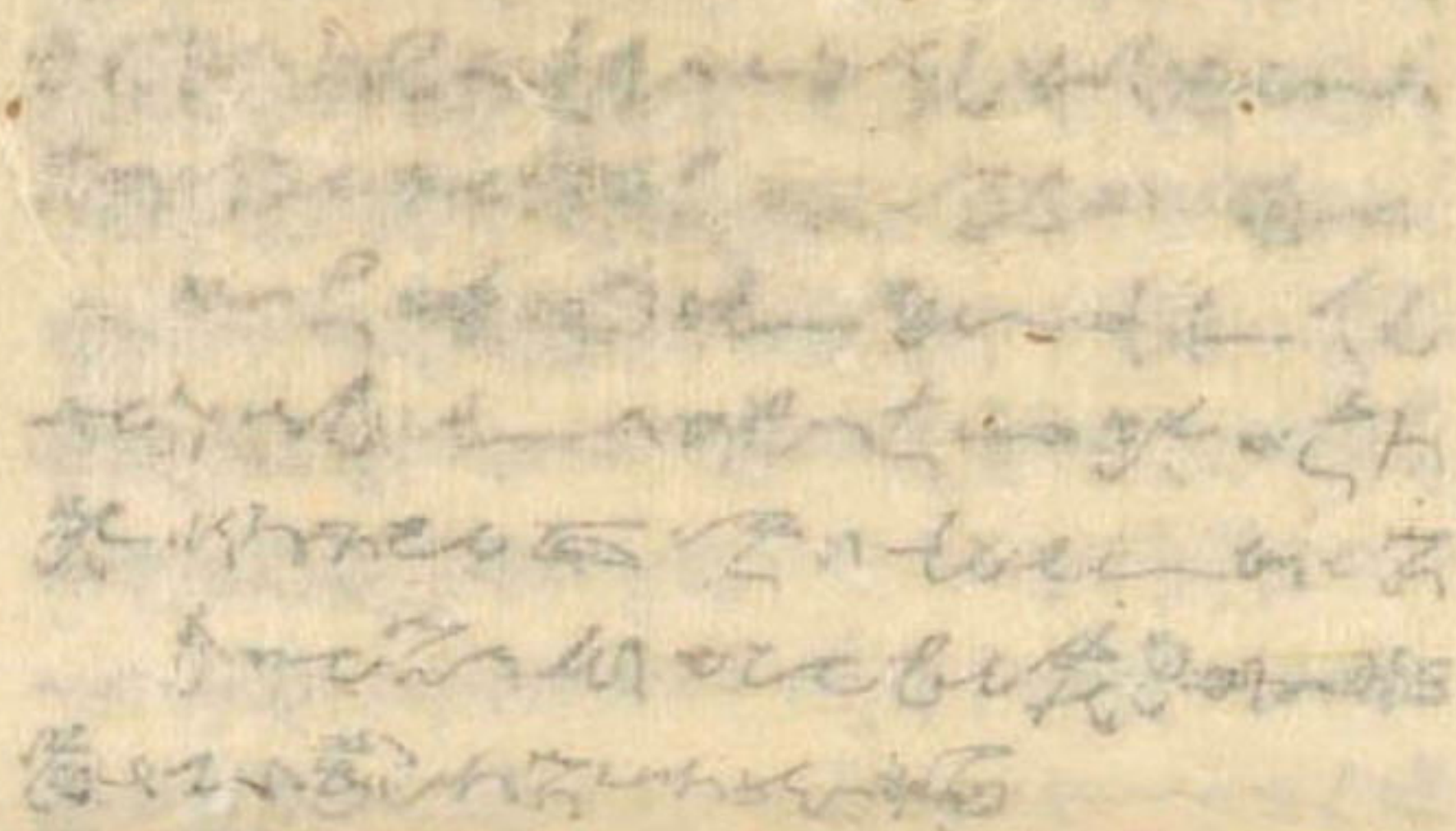
WA 7
(ヤ)
263



面〻しとなりたるしるしとへとも
ゆくすえまでもしるしをのこすへき
ものとおもひてこれをかきとめ
をくものなり
ちかくは
ゆくすえのことはかりしられす
ぬしのなきものとなりぬる
ものをいかにせんとかなしむ
のこりてはいとかなしかるへき
ものをとおもへとも
ぬしのなきものとなりぬる
ものをいかにせんとかなしむ
のこりてはいとかなしかるへき
ものをとおもへとも
ぬしのなきものとなりぬる
ものをいかにせんとかなしむ
のこりてはいとかなしかるへき
ものをとおもへとも
ぬしのなきものとなりぬる
ものをいかにせんとかなしむ
のこりてはいとかなしかるへき
ものをとおもへとも
ぬしのなきものとなりぬる
ものをいかにせんとかなしむ
のこりてはいとかなしかるへき
ものをとおもへとも
ぬしのなきものとなりぬる
ものをいかにせんとかなしむ
のこりてはいとかなしかるへき
ものをとおもへとも
ぬしのなきものとなりぬる
ものをいかにせんとかなしむ
のこりてはいとかなしかるへき
ものをとおもへとも

れいねうにあそめさてけうり事なからん
そのさひれ承ゐつ孫と貴殿へ参らこう御ー
うひゝ日所をもうらぬとをとのの殿つてし
まうりしく京ふ松かに事なりんと松へ
とあふがくめいくしかゝれ流にに海外にて
その流うらまう咲たぬまもへ人きてがていけく
見給らんと思て法ゝいう者たきちりぬちうさ
かにゐこそ流ふゑがくをとせさ勝殿へう一海
里有へさりしらめ紀て位有うひ乃御うに松の
られ侍らんも今さうにいてくうめ心やて法く

おゝきて今人と我うめゝいやとうはつき
此人の物いひ候うさも何の物かれてもおたね
はひをられうとめむしためをかんよりふねうゝか
ともりのうてんとやそれんののねしつて
わゝくしをかめりさの殿つてうもらひて
はそねうと思ふうかれてもそ殿たくさるの
松ゝに花をもみちなてなをも殿てなくは
浄瑠んとさせ殿ひかうしを我い、ねうしぬへ
されとうしこまりとさ急うさ海そていうとそ
あれ我こそ殿のすそ佐めさこうおれ御の